

- 1 会 議 名 議会基本条例推進協議会
- 2 日 時 令和 7 年 12 月 17 日（水）  
午後 1 時 30 分から午後 2 時 59 分まで
- 3 場 所 第 2 ・ 第 3 委員会室
- 4 出席議員 議員 15 名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己、同主任 村瀬雄哉
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

（1）議長会特別委員会の報告（議長）

須藤議員：11 月 17 日に開催された令和 7 年度「大規模地震に備えた防災まちづくりの推進に関する特別委員会」有識者等との意見交換会（第 2 回委員会）について、12 月定例会初日に配付した資料に基づき説明

【質疑】

なし

（2）チーム会議開催報告について（基本条例・I C T・市民参加）

（基本条例チーム）

梅村副会長：12 月 2 日にチーム会議を開催し、議会基本条例の見直しを行った。傍聴規則についても少し協議した。傍聴規則については 18 日のチーム会議から本格的に協議を開始する。

（I C Tチーム）

関戸議員：12 月 4 日の午後 1 時 30 分からチーム会議を行った。岩倉市議会タブレット使用基準の原案ができたので、この後の協議事項で説明する。

（市民参加チーム）

・報告事項なし

【質疑】

梶谷議員：基本条例の意見交換は行わないのか。

梅村副会長：この後の協議事項にて行う。

（3）その他

なし

## 9 協議事項

### (1) 議会基本条例の見直しについて

梅村副会長：資料に基づき説明

#### 【質疑】

梶谷議員：前文が大幅に変わっているのが残念である。現代的でよいかもしれないが、岩倉市にしかないものを大切にしたいという思いで先輩たちがつくったものである。また、議会の透明性はわかるが、「民主性」はこの表記もあるのか。調べると「民主制」しか出てこない。

梅村副会長：「民主性」については、「民主制」に変更する。前文が作成された際はこういった意見であったか。

木村議員：制定したときはこういった内容にしたいという意見が多く入れた表現だが、こういうものは歴史が積み重なっていくものである。我々もいずれ「諸先輩」になっていく。時限を切らずに普遍的な表現にしたほうがよいと考えた。積み重ねてきたということは書いてある。特定のどこかの年代でやってきたという表現にはせず、これから自分達も同じように歴史をつくっていくということで、諸先輩という部分をなくした。

須藤議長：前文は岩倉市独自の表現で、思いがあってつくられたものである。

木村議員：多くの思いがありすぎて、日本語としての表現がおかしい部分がある。「諸先輩」を消したのは、我々も歴史の中で追求していくという意味がある。

水野議員：「民主性」と「民主制」の違いについて、「民主性」は性質や中身、実質のことであり、民主制は制度や仕組み、形式の意味である。確保という言葉につながるのであれば中身や実質の意味の「民主性」ではないか。

梅村副会長：意味を調べると「民主性」がよいと思う。答弁を変更して申し訳ないが、「民主性」に戻してよろしいか。

谷平会長：「民主性」とする。前文についていかがか。

片岡議員：「これまでも」となっているので、ここに諸先輩のことも含まれていると感じた。この案でよいのではないか。

梶谷議員：慣例及び実例集は他の議会にないものなので、それを消すのはどうなのか。

塚崎議員：「これまで」以降を全部消す案もあった。私のように他市からきて、岩倉市にいる期間が短い議員もこれから出てくると思う。検証の理念は最低限残したほうがよいという意見を私は言った。最後の「市民にわかりやすく示すことで」を消したことで、文章がかなり整理されたと思う。

堀江議員：「本市の歴史・伝統・文化を大切に育み、次世代に継承していくまちづくりとして」を削除して「小さなまちから大きな夢を」だけにして

いるが、それだけではわかりにくい。今後、議員も変わっていくなかで、思いを受け継いでいきたいと思うのであれば、そこをわかりやすくしておくべきだと思う。全部を削除するのではなく、ポイントは残していただきたい。

塚崎議員：元の文章は非常に長くてわかりにくい。残すのであれば文章の書き直しが必要である。

梅村副会長：「小さなまちから大きな夢を」は岩倉市に合う最大の特徴ということで、これを浮き立たせてはどうかという思いである。

木村議員：市民憲章にはここにうたっている内容は書いていない。市民憲章に書かれていないことを書くのはおかしい。もしそういった内容を入れるのであれば、かなり文章を考える必要がある。

谷平会長：基本条例チームが持参した案でよろしいか。

水野議員：「これまでも」の文に主語がない。そこに「岩倉市議会は」と主語を入れ、文章を区切ってはいかがか。そうすれば後半の文に主語は必要なくなる。

谷平会長：「これまでも、岩倉市議会は議会における民主性及び透明性の確保に努めてきた。この度、議会の最高規範となる岩倉市議会基本条例の制定にあたり、「小さなまちから大きな夢を」とうたっている市民憲章の理念を追求すると共に弛（たゆ）まず議会改革に邁進していくことを宣言する。」とする。

梅村副会長：この後は例規審査を受ける。そこで指摘があれば調整が必要になるかもしれない。その後に議会運営委員会に諮って、3月定例会に提出したいと思っている。

## （２）タブレット端末導入後の運営について

（岩倉市議会の会議等での情報通信機器使用基準について）

関戸議員：資料に基づき説明

片岡議員：改正内容について補足説明

塚崎議員：録音はずっとしているが、毎回許可が必要なのか。

片岡議員：そこまでチーム内で議論していない。定例会ごとに議長に口頭で許可を得ていただければと思う。特に書面は考えていない。

梅村副会長：個人所有のパソコンではエッジを推奨ということはどこかに書いてあるか。個人所有のパソコンは使えないということか。

片岡議員：個人所有のパソコンでチームズを見ることはできる。ただそれはエッジでやってほしい。やれないということではない。

塚崎議員：マイクロソフトと相性が良くない製品がある。エッジはあくまで

推奨であり、エッジでなければならないということによいか。

関戸議員：エッジを使用していただくとダウンロードできないように制御できるためである。他のブラウザでも使うことはできるが、そうするとダウンロードができてしまうため、セキュリティを確保する目的でエッジを推奨している。

梅村副会長：今までの会議でも何度も言っているが、今まであるルール of 整理も一緒にしていかないと整合性が取れないのではないのか。

関戸議員：ご指摘のとおりであるため、現状に即した形にこれから変えていく。

塚崎議員：縛りの強いルールになっていると思う。もう少し柔軟くしたほうがよいのではないか。例えば傍聴者は自由に撮影や録音ができるが、会議に出席している議員は許可を取らないとできない等、自由度がない。個人情報 of 保護に関しては議員個々が責任を持てばよい。審議がしづらい状態をつくるのはどうか。

片岡議員：具体的にどこが審議しづらくなるのか教えていただきたい。そういった意図はない。

塚崎議員：貸与 of 端末に対してルールをつくるだけでなく、個人所有 of 情報通信機器についてもルールが決められている。例えば私はいつも自分の情報通信機器で会議を録音しており、そうするとすぐに議事録を作成できる。自分は会派に属していないため、そういった機器を利用して時間短縮をして議案審議に取り組む努力をしている。そういったものは受け付けないことが前提にあり、許可を取ればできるという流れであると、議長に許可を取らずに録音したことが問題になる可能性がある。今まで、個人が所有している機器に関しては個人が責任を持って議会運営されてきたと思うが、なぜ個人所有 of のものにまでこんなにもルールがあるのか。

片岡議員：個人の責任でよいのではないかという意見であるが、議会として果たして本当にそれがよいのかというところからスタートしている。議会としてある程度のルールを持っていないと、個人の責任にして議会は何 of のルールもなくやっていたのかということになってしまう。ご不便をおかけするが、許可を取っていただければ引き続き録音もできることになっているので、ルールの中でやっていくようお願いできればと思う。

谷平会長：議長に許可を得て行うということによいか。

- ・ICTチーム of 案のとおり to 決した。

### （３）岩倉市議会サポーター意見交換会について

（１月１７日（土）及び１月２１日（水）の役割分担など）

- ・片岡議員の出席日が1月17日から21日に変更となった。
- ・役割分担は以下のとおりとした。

1月17日（土）

記録：日比野 司会：鬼頭 1階案内：塚崎、木村 7階受付：水野

1月21日（水）

記録：井上 司会：谷平

（4）商工会との意見交換会（2月10日（火））の役割分担等について

谷平会長：午前9時30分から商工会館にて行う。

事務局：先日、商工会から陳情を提出されたときに提案があった。テーマは「今後のまちづくり」である。商工会からは、市議会主体で意見交換をお願いしたいということと、事前に市議が岩倉市のまちづくりをどう考えているのか意見を聞きたいとのことであった。

谷平会長：テーマについての意見は各会派から1人、会派に属さない議員は個々でということとして商工会に伝える。

（5）今後の日程確認について

谷平会長：資料に基づき説明

（6）その他

（傍聴規則の改正について）

梅村副会長：以前から協議会のルールも傍聴規則に入れてほしいという意見が出ている。これについて前回のチーム会議で協議したが、傍聴規則ではなく、岩倉市議会全員協議会の運営に関する要綱に入れることで意見がまとまった。また文書で示すが、本日はその件を口頭で報告する。

（議会における個人情報の取扱いについて）

梅村副会長：12月24日に正副会長が行政課と打ち合わせをする。個人情報を議案書には掲載せず、説明資料にはこれまでどおり掲載することが可能かどうか確認する。

（10月25日のふれあいトーク記録書について）

塚崎議員：最後の「適宜行追加」を削除してほしい。

木村議員：議会の応答がですます調になっているところがある。である調に統一してほしい。

(10月27日のふれあいトーク記録書について)

木村議員：文末が体言止めになっている部分は意味がわかりにくいため、わかりやすく修正したほうがよいと思う。

水野議員：今の話と重なるが、「継続検討」と「検討継続」があるため、修正するには表現を統一したほうがよいと思う。

堀江議員：文頭に「・」の記号を使用しているため、並列を示す「・」の表記は言葉にした方がよいと思う。

大野議員：東町の田んぼの宅地化の回答について、現行マスタープランではなく中間見直し案である。また、宅地開発方針ではない。検討しているだけである。正しい言葉に修正したほうがよい。

木村議員：「都市計画マスタープランの中間見直しでは、住居系拡大検討ゾーンになっている」に修正して、後は同じでよい。

(UDトークについて)

事務局：現在全庁的にシステムを使用できるよう検討しているとのことで予算カットとなった。議会運営委員会でも改めて報告する。

## 9 その他

(市役所の開庁時間短縮について)

塚崎議員：市役所の開庁時間が短縮されるが、それによる議会への影響が気になっている。そういったことはいつどのように決まるか。

梅村副会長：議会が午後5時までであり、傍聴者がいた場合の誘導など、対策が必要なことがある。来年6月までに対応していきたい。